

編集後記

●介護保険法改正により、在宅医療・介護連携の推進が地域支援事業に位置づけられました。市町村が主体となり、都道府県、保健所、地域包括支援センターなどが有機的につながる体制を整える必要があるわけですが、ポイントは「地元医師会との連携」と見えています。今月号の特集では、在宅医療・介護連携推進事業に先立って行われた在宅医療連携拠点事業などの取り組みを紹介しましたが、先進例の共通点は医師会との関係が良好であること。事業を委託するにせよしないにせよ、専門職をつなぐコーディネーターとしての保健師の力量がここでも問われそうです。(和田)

●季節の移り変わりが早くなっている。まだ5月なのに台風が接近したり、7月のような陽光が真夏日の気温をもたらしたりしている。本格的な夏が来る前に、日本にはまだこれから「梅雨」という鬱陶しい季節があるはずだ。

●話は変わるが、近くのJRの駅の土木工事は、開始当初、バリアフリー化のためと表示されていた。それにしても大がかりだと思っていたら、首都直下地震への備えも兼ねていると知った。箱根では火山の噴火も予想されており、今の日本はどんな災害が起きてもおかしくない。日常の備えを怠るまい。(杉之尾)

特集

がんとともに生きる社会 働き盛りへの対策と支援を中心に

がん対策推進基本計画の推進と

「全国がん登録」の意義 藤下真奈美／江副聡

がん検診受診率向上への取り組み 大熊ゆき子

受動喫煙対策と禁煙外来

職場における1次予防の重要性 中嶋千晶

嘱託産業医中心に産業看護職・人事労務も必読

「がん就労」復職支援ガイドブックの活用 立石清一郎

「治療と就労両立」支援の事例から 錦戸典子

「患者力」と専門職の連携

情報提供と相談支援を担う愛媛がんサポートおれんじの会の

取り組みから 松本陽子

FOCUS

【トークセッション】薬物依存症女性の母子支援を考える

上岡陽子

連載

保健師のための行政学入門 吉岡京子

見方を変えると“場”が変わる 事例検討会の進め方 大木幸子

ナカイト発 保健師へのつづき 中板育美

ニュースウォーク 白井正夫

保健師ジャーナル 第71巻7号 2015年7月10日発行(毎月1回10日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2015, Printed in Japan

1部定価：本体1,400円＋税

2015年年間購読料(送料弊社負担) 冊子版：本体14,280円＋税、冊子＋電子版/個人：本体17,280円＋税、

冊子＋電子版/共有：本体19,440円＋税、電子版/個人：本体14,280円＋税、電子版/共有：本体16,440円＋税

販売部：☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集部：☎(03)3817-5774 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当：和田/杉之尾/伊藤

Twitter <http://www.twitter.com/hokenshiJ> Facebook <http://www.facebook.com/hokenshiJ>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】<出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。